

テレサの羽根～エンレイ・コンサート

きみ
人は花より美しい



「アジアの歌姫」と呼ばれたテレサ・テンが亡くなったのは1995年。台湾生まれで、日本、台湾、香港、東南アジア諸国でも絶大な人気を誇り、80年代前半、一時的に彼女の音楽を聴くことを禁止されていた中国にも、テープレコーダーの歌声に聴き入るファンが後を絶たなかったという伝説を残しました。そんな彼女に魅せられた一人が中国出身のエンレイです。日本人を祖母に持つ彼女は「子供のころからテレサ・テンの大ファンで、彼女のように、国境を越えて、多くの人たちに歌を聴いてもらうのが夢でした」と語ります。高校時代より歌手としての才能が注目され、中国で音楽活動を開始。1998年には日本に活動拠点を移し、2005年テレサ・テン10周年に追悼曲「永遠のひと」で日本デビューを果たし、その際、テレサ・テ

ンの実弟ジム・テンから「姉と声が似ている」と太鼓判を押されました。

2007年には東京・日生劇場で上演された舞台「何日君再来(イツノヒカキミカエル)」でテレサ・テン役を好演。エンレイの透き通った、そして力強い歌声が新聞各紙で絶賛されました。また、サントリー・ウーロン茶のコマーシャルでは、「木綿のハンカチーフ」「あの素晴らしい愛をもう一度」「シャル・ウィ・ダンス」などを中国語で披露しているので、その歌声を耳にされている方も多いのではないのでしょうか。

このたび、「時の流れに身をまかせ」「つぐない」など、テレサ・テンの数多くのヒット曲を手掛けた作詞家、荒木とよひさ氏が総合プロデュースを担当し、テレサのヒット曲を中心とした

コンサートをお届けすることになりました。単なるトリビュート・コンサートではなく、大ヒット曲「時の流れに身をまかせ」も、歌の中の主人公が今どうしているのかが明らかになる、新バージョンの歌詞が登場。その他「愛人」「恋人たちの神話」「香港」など、今なお広く愛される名曲の数々を、エンレイが素晴らしい歌唱力で歌い上げます。また、エンレイのために書き下ろされた新曲「テレサの羽根」も披露されるなど、その多彩なプログラムも大きな話題です。もしも今、テレサ・テンが生きていたなら、どんな詞を歌うのか。物まねではなく、自分の才能で歌うエンレイのステージは、テレサ・ファンもエンレイ・ファンも満足すること間違いなし。新星スターが永遠のスターのナンバーを歌う、話題満載のスペシャル・コンサートです。

出演者 エンレイ、他

予定曲目 時の流れに身をまかせ、つぐない、愛人、恋人たちの神話、香港、テレサの羽根、他

予定開催地域 飯田、長野、岡谷、他